



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月14日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東
 コード番号 3904 URL <http://www.kayac.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 藤川 綱司 (TEL) 0467-61-3399
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け) (百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	1,393	△2.6	△116	—	△117	—	△97	—
2018年12月期第1四半期	1,430	0.2	83	△75.2	85	△74.6	50	△77.6

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 △94百万円(—%) 2018年12月期第1四半期 △2百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	△6.47	—
2018年12月期第1四半期	3.34	3.27

(注) 2019年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	5,606	2,363	40.5
2018年12月期	5,323	2,482	44.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 2,271百万円 2018年12月期 2,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2019年12月期の配当額は未定であります。

3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	20.3	0	—	0	—	0	—	0.00

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 第2四半期(累計)の業績予想は行っていません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	15,147,800株	2018年12月期	15,125,600株
② 期末自己株式数	2019年12月期1Q	164株	2018年12月期	164株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	15,133,329株	2018年12月期1Q	15,066,222株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、輸出の減少や国内生産活動の低迷を理由として、政府が3年ぶりに月例経済報告の総括判断を下方修正するなど、これまでの回復基調に足踏みがみられるようになりました。

当社グループを取り巻く事業環境としまして、2017年のスマートフォン保有率は前年同期比3.3%ポイント上昇の75.1%となり、インターネット環境は発展を続けております(出所:総務省「平成30年版情報通信白書」)。当社が注力するインターネット広告市場につきましても、2018年の市場規模は前年比16.5%増の1兆7,589億円と順調に拡大しております(出所:電通「2018年 日本の広告」)。また、スマートフォンゲームの市場規模は2017年に初めて1兆円に到達し、2018年(予測)は1兆600億円、2019年(予測)は1兆1,000億円と、安定的な成長が見込まれております(出所:矢野経済研究所)。

このような事業環境の中で、当社グループはより多くのユーザーに楽しんでいただけるよう良質なデジタルコンテンツを提供し続けております。その中でも受託サービスであるクライアントワーク、自社サービスであるソーシャルゲーム及び「Lobi」の3つを主要サービスと位置づけ注力し、相互にシナジーを図りながら事業を進めてまいりました。また、その他サービスとして、新規サービスの開発及び投資を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,393,492千円(前年同期比2.6%減)、営業損失は116,510千円(前年同期は営業利益83,840千円)、経常損失は117,059千円(前年同期は経常利益85,969千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は97,965千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益50,368千円)となりました。当社グループの事業セグメントは単一セグメントであります。サービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

① クライアントワーク

新しい技術とアイデアに挑戦し、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験を提供することで、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告を提供しております。スマートフォンの普及や新しい技術の出現を背景に、WEB領域にとどまらないリアルと連動した案件が増加傾向にあります。そのような中で、積極的に業務提携を進めるとともに、VRやAIを利用した案件等の新しい取り組みを積極的に行うことで事業領域の拡大を図っております。この結果、クライアントワーク関連の売上高は、615,966千円(前年同期比16.0%増)となりました。

② ソーシャルゲーム

「共闘スポーツRPG」を軸にしたタイトルを展開し、「ぼくらの甲子園!ポケット」や「キン肉マン マッスルショット」がソーシャルゲーム事業の売上高の大部分を占めています。これらの既存タイトルはプロダクト・サイクルの後期に入りつつあるものの、コアなユーザーを抱えており、売上は底堅く推移しております。また、2019年4月に「進撃の巨人 TACTICS」をリリースしました。当第1四半期は既存タイトルから新規タイトルへの移行期にあたります。この結果、ソーシャルゲーム関連の売上高は、422,667千円(前年同期比25.4%減)となりました。

③ Lobi

「Lobi」というスマートフォンゲームに特化したコミュニティ事業を進めております。「Lobi」と連携するタイトル数の増加とコミュニティが求める機能の拡充により、ユーザー数の拡大を目指しております。併せて「Lobi」の強みであるコミュニティやユーザーにより焦点を当てた収益構造への転換を図っております。また、2019年2月にユーザー間のコミュニケーション向上のため、ボイスチャット機能をリリースしました。この結果、Lobi関連の売上高は、84,071千円(前年同期比5.5%増)となりました。

④ その他サービス

ウェディングプランナーとユーザーをつなぐブライダルプラットフォーム「プラコレWedding」、esportsイベントの企画・運営からesports専門メディアの運営等を行う「esports事業」が順調に成長を続けております。また、地域を軸としたスカウトサービス「SMOUT」、コミュニティ通貨プラットフォーム「QWAN」等、地域関連事業に関する新規サービスの開発及び投資を積極的に行っております。この結果、その他サービス関連の売上高は、270,786千円(前年同期比6.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ282,833千円増加し、5,606,289千円となりました。主な要因は、銀行借入に伴う現金及び預金の増加452,572千円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ401,791千円増加し、3,243,157千円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の増加398,669千円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ118,958千円減少し、2,363,132千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少128,216千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2019年2月14日公表の「平成30年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の予想を変更しておりません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	973,001	1,425,574
受取手形及び売掛金	1,120,265	931,311
仕掛品	111,594	256,405
その他	511,603	348,243
貸倒引当金	△37,297	△44,570
流動資産合計	2,679,167	2,916,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	888,509	880,740
土地	690,478	690,478
その他(純額)	99,188	117,472
有形固定資産合計	1,678,176	1,688,690
無形固定資産		
のれん	239,965	232,662
その他	153,605	174,165
無形固定資産合計	393,570	406,827
投資その他の資産		
投資有価証券	429,648	436,511
その他	145,646	160,048
貸倒引当金	△2,753	△2,753
投資その他の資産合計	572,541	593,806
固定資産合計	2,644,288	2,689,324
資産合計	5,323,456	5,606,289
負債の部		
流動負債		
買掛金	318,838	354,526
1年内返済予定の長期借入金	371,988	480,330
未払金	194,893	170,007
未払費用	200,320	217,927
未払法人税等	8,555	6,617
その他	155,572	132,225
流動負債合計	1,250,168	1,361,633
固定負債		
長期借入金	1,580,971	1,871,298
その他	10,226	10,226
固定負債合計	1,591,197	1,881,524
負債合計	2,841,365	3,243,157

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	510,281	514,111
資本剰余金	453,975	457,805
利益剰余金	1,260,896	1,132,679
自己株式	△208	△208
株主資本合計	2,224,945	2,104,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161,353	167,587
その他の包括利益累計額合計	161,353	167,587
新株予約権	50,042	48,499
非支配株主持分	45,750	42,658
純資産合計	2,482,090	2,363,132
負債純資産合計	5,323,456	5,606,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	1,430,396	1,393,492
売上原価	938,416	1,101,365
売上総利益	491,980	292,126
販売費及び一般管理費	408,139	408,637
営業利益又は営業損失(△)	83,840	△116,510
営業外収益		
受取利息	37	150
助成金収入	2,100	1,440
為替差益	641	—
その他	306	978
営業外収益合計	3,086	2,568
営業外費用		
支払利息	597	720
持分法による投資損失	—	2,082
その他	360	315
営業外費用合計	957	3,118
経常利益又は経常損失(△)	85,969	△117,059
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	85,969	△117,059
法人税、住民税及び事業税	27,401	2,189
法人税等調整額	8,993	△18,191
法人税等合計	36,394	△16,002
四半期純利益又は四半期純損失(△)	49,574	△101,057
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△793	△3,091
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	50,368	△97,965

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	49,574	△101,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,359	6,233
為替換算調整勘定	△1,439	—
その他の包括利益合計	△51,798	6,233
四半期包括利益	△2,224	△94,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,430	△91,732
非支配株主に係る四半期包括利益	△793	△3,091

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。